

各課からのお知らせ

【税務課より】

納税の猶予制度のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響で、納税が困難な場合、納税を猶予する「特例制度」があります。

■申請方法

申請書等を郵送または窓口へ提出が必要です。
※申請書は市HPでもダウンロードできます。

■申請期限 各種税金の納期限まで

☎税務課管理収納係 ☎内線 132・136

【水道課より】

水道料の支払い猶予について

新型コロナウイルス感染症の影響により、水道料金の支払いが困難となった方は、支払い猶予などの相談に応じますので、お問い合わせください。

☎水道課業務係 ☎内線 129

【保健課より】

世帯向けマスク配布について

5月末まで各世帯向けにマスク配布を行いました。マスクが届いていない方は、ご連絡ください。

☎保健課健康増進係 ☎内線 121・138・164

【福祉課より】

ひとり親世帯臨時特別給付金のご案内

1. 基本給付（1世帯5万円、第2子以降1人3万円）

- 令和2年6月分の児童扶養手当受給者
- 公的年金等の受給により、児童扶養手当が全額停止される方
- 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、児童扶養手当受給者と同じ水準の収入となった方

2. 追加給付（1世帯5万円）

上記①②の該当者のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した方
※該当者には後日、通知文を発送いたします。

☎福祉課児童障害者係 ☎内線 124・127

【水産商工観光課より】

持続化給付金（市独自）の申請開始

■対象

- 市内に事業所を有する中小企業、個人事業主等
- 垂水市・牛根漁業協同組合に所属する事業者

■給付の条件

令和2年2月～5月のうち、前年同月比で売上が20%以上50%未満減少した月があること。

■給付金の額 1事業者あたり5万円

■申請期間

6月23日（火）～7月31日（金）

※対象者には、申請書等の申込書類を送付済です。

■申請先提出先

- 垂水市漁協に所属する事業者 → 垂水市漁協
 - 牛根漁協に所属する事業者 → 牛根漁協
 - 上記以外の事業者 → 垂水市商工会
- ☎水産商工観光課商工業推進係 ☎内線 266

【農林課より】

畜産農家への事業継続支援給付金について

1. 肥育農家経営緊急支援給付金

令和2年4月～9月に出荷した肉用牛のうち肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）が交付される場合に出荷した肉用牛1頭につき飼料代として3万円を給付

2. 肉用牛生産農家経営緊急支援給付金

令和2年5月～7月の肝属中央家畜市場に上場した垂水市産の子牛の平均価格が、前年同月の平均価格を20%以上下回った場合に繁殖雌牛1頭につき飼料代として2,000円を給付

3. 垂水市地域内肥育用素牛導入緊急支援事業補助金

令和2年7月～9月の垂水市産の導入牛について、経費の一部を助成（素牛導入価格（税抜）の8%以内、上限1頭あたり8万円以内）

☎農林課振興係 ☎内線 241

新型コロナウイルス感染症関連情報

「新しい生活様式」における熱中症予防行動

環境省・厚生労働省（令和2年5月）

新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントをご紹介します。

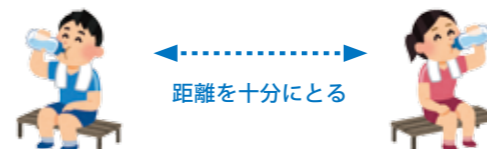
1. 暑さを避けましょう

- エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- 暑い日や時間帯は無理をしない。
- 涼しい服装にする。
- 急に暑くなった日等は特に注意する。



2. 適宜マスクをはずしましょう

- 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす。
- マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩をする。



※高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。
※3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見をなくしましょう。

新型コロナウイルス感染症を防止することは重要ですが、感染をおそれるあまり、外国人、県外の方または医療従事者などへの偏見や差別につながる対応をしてしまうことが心配されています。感染を過剰に心配して、人の心を傷つけることがないように、一人一人が気を付けましょう。

3. こまめに水分補給しましょう

- のどが渇く前に水分補給
- 1日あたり1.2リットルを目安
- 大量に汗をかいた時は、塩分も忘れずにとる。



4. 日頃から健康管理をしましょう

- 日頃から体温測定、健康チェック
- 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養



5. 暑さに備えた体作りをしましょう

- 暑くなり始めの時期から適度に運動
- 水分補給は忘れずに、無理のない範囲で運動
- 「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度の運動

